

マツダ（株）マツダ病院で診察を受けられる方へ

研究協力をお願いについて

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合には下記の相談窓口へご連絡ください。ご連絡のない場合においては、ご了承いただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、倫理委員会の審査を受け、研究責任者の所属機関の長の承認を得て行っているものです。

1. 研究課題名	当院における血液培養検査の汚染率低下へ向けた活動
2. 研究の概要	血液培養検査は感染症診療において重要な検査です。正しい検査結果を報告するために、適切な検体採取の活動を行います。
研究期間	承認日 ～ 2025 年 7 月 31 日
研究の対象	2021 年 1 月～2024 年 12 月に当院で血液培養検査を受けられ、汚染菌（疑）が発育した方。
3. 研究の目的・方法について	検体採取時の皮膚常在菌や環境菌による偽陽性は、不要な抗菌薬使用につながる可能性があるため、適切に検体採取を行う必要があります。当院では散発的に汚染率の上昇を認めており、その原因究明と汚染率低下へ向けて活動しました。 血液培養陽性検体のうち汚染菌の可能性がある場合、採取状況を聞き取りし、対策を行いました。対策前後の汚染率を算出することで、対策の有効性を評価します。
4. 研究に用いる試料・情報の項目	診療の際に得た下記試料・情報を使用します。 試料：なし。 情報：血液培養検体を採取した際の状況および検査結果
5. 研究機関の名称	マツダ（株）マツダ病院
6. 当院研究責任者	外科 赤木真治
7. 外部への試料・情報の提供や公表	☐あり 提供方法：

	海外の機関への提供 ☐ 有 ☐ 無 ☒ なし
8. 個人情報の保護	研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、「匿名化された情報」として使用いたします。
9. 費用負担	この研究を行うあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。
10. 研究資金・利益相反*1)	利益相反はありません。
11. 結果の公表	この研究で得られた成果を第40回日本環境感染学会総会・学術集会で報告予定です。この場合も個人を特定できる情報は使用しません。
12. 研究への不参加の自由について	この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。参加をご了承いただけない場合には下記お問い合わせ先までご連絡ください。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことが困難な場合もあります。
備考	

*1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体などから経済的な利益（謝金、研究費、株式等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

お問い合わせ先

マツダ（株）マツダ病院

研究責任者：赤木真治

電話：082-565-5000（代表）